

災害復興 支援事業

甚大な被害をもたらした東日本大震災の復興支援をはじめ、大規模な地震や火災、台風など自然災害の被災地を復旧・復元するための活動を行っています。

義援金募金活動

大規模な地震や火災、台風などの深刻な被害が予想される広域災害発生の際は、セブン-イレブン店頭で設置されている募金箱のステッカーを貼り替え、義援金募金活動を行っています。皆様からのご厚意は、心を含めて被災地へお届けしています。



災害地復旧のための募金活動

災害発生日・災害名	店頭募金額	募金期間	実施店	お届け先
2013年(平成25年)11月 「フィリピン台風被害」	9067万5271円	2013年(平成25年) 11月11日～11月24日	全国	自立支援型NGO Habitat for Humanity Philippines (ハビタットフォーヒューマニティフィリピンズ)

1994年からこれまでの義援活動の総額 36億6168万478円(見舞金・物品710万円を含む)

東日本大震災復興支援

東日本大震災復興プロジェクト

東日本大震災被災地復興の魚業支援活動として、9月7日に宮城県気仙沼市唐桑町の「唐桑創生村」にて、セブン-イレブン加盟店オーナーやセブン-イレブン本部社員をはじめ、セブン&アイ・ホールディングスグループ社員56名のボランティアが、牡蠣や帆立の養殖作業を行いました。翌8日は雨天のため、大崎市鳴子温泉玉ノ木で豊かな海をつくるための森づくり「宮城セブンの森」の現地視察と「森林セミナー」を行いました。



牡蠣の養殖作業

東北に緑を!セブン-イレブンプロジェクト

2012年度より教育庁の協力を得て、被災地の子どもたちを植樹や植花活動を通じて応援しています。2013年度は岩手県も加え、宮城県と福島県を合わせた3県の小学校192校に花苗などをお届けしました。



花壇づくり



児童からのお便り

自然災害復興活動

支笏湖周辺台風災害・復興の森づくり

2006年に開始した「市民の手で100haに10万本の植樹を行う森づくり」は、今年7年目を迎えました。現在は北海道森林管理局と包括協定を結び、「NPO法人 支笏湖復興の森づくりの会」の春植樹や夏の下刈り、秋の同窓会などの活動を支援しています。



2013年春植樹

セブン-イレブン加盟店とセブン-イレブン本部社員が保育している「支笏湖セブンの森」は、5月18日に54名で1haに1,000本のカラマツを植樹し、7月6日に80名で下刈りを行いました。



7年経った苗木の下刈り